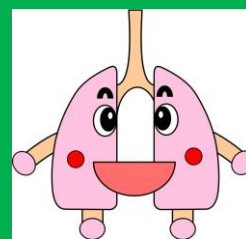


## 多摩府中保健所感染症週報

平成30年第38週(9月17日~9月23日)



肺えもん

## 今週の傾向

★RSウイルス感染症の報告数は減少傾向ですが、例年より高めの水準で推移しています。

★定数報告疾患では、風しんの発生報告数が増加しています。

★引き続き、手洗い・咳エチケットを行い、飛沫感染や接触感染を予防しましょう。

## ● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第37週	第38週	第37週	第38週
インフルエンザ	インフルエンザ	0.12	-	0.21	0.19
小児科	RSウイルス感染症	2.71	0.94	2.13	1.40
	咽頭結膜熱	0.24	0.33	0.29	0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29	1.28	1.50	1.32
	感染性胃腸炎	3.43	2.50	3.91	3.50
	水痘	0.05	0.28	0.16	0.21
	手足口病	0.95	1.28	1.35	1.24
	伝染性紅斑	0.86	0.61	0.99	0.85
	突発性発しん	0.57	1.00	0.48	0.49
	ヘルパンギーナ	1.38	0.61	1.01	0.63
	流行性耳下腺炎	0.05	0.11	0.13	0.11
	不明発しん症	0.14	0.06	0.15	0.10
	川崎病	-	-	0.02	0.01
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	1.50	-	0.68	0.24
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	0.04	0.12
	マイコプラズマ肺炎	-	0.67	0.04	0.24
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-
	インフルエンザ(入院)	-	-	-	0.04

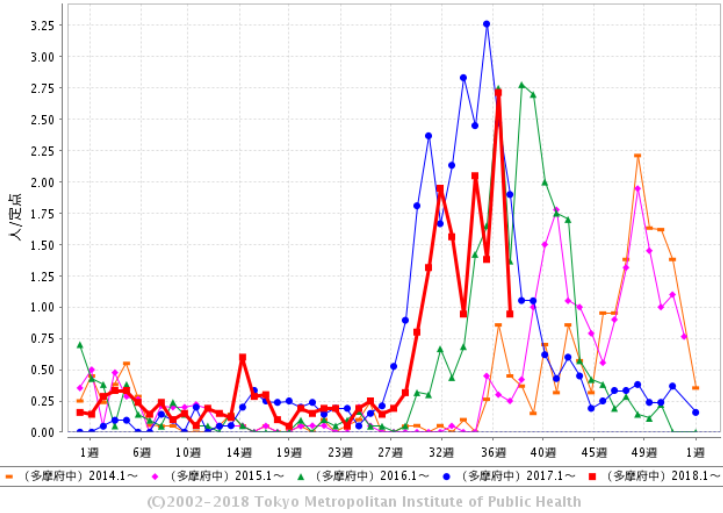
※平成30年1月第1週より百日咳が定点把握対象疾患から全数把握疾患に変更されました。

今週の状況 …過去5年間の比較

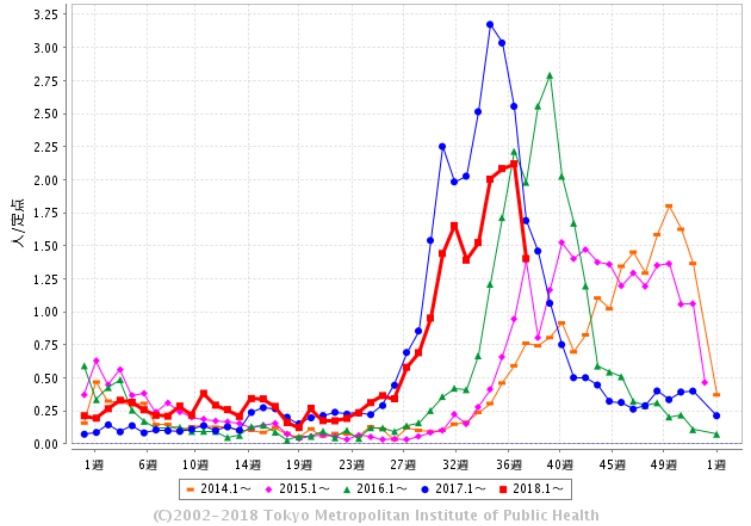
赤線は2018年第38週までの定点当たりの報告数

●RSウイルス感染症・・・前週より報告数は減少傾向ですが、高めの水準です。

多摩府中保健所管内



都内



●風しんの報告数が増加しています

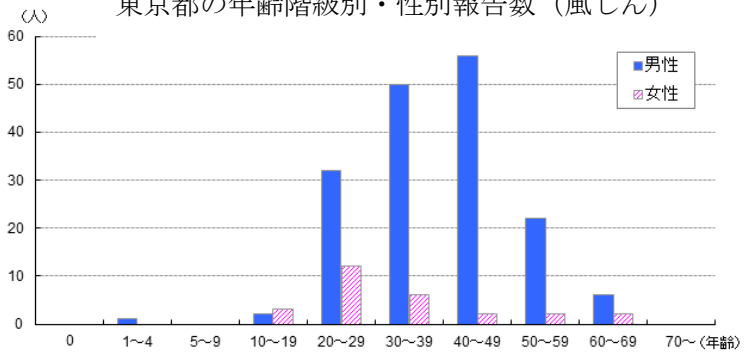
風しんの報告数は増加しており、東京都内で第37週（～9/16）までに累計196人の報告がありました。年齢階級別・性別では20歳代から50歳代のワクチン接種歴がない／またはワクチン接種歴不明の男性が多く罹患しています。



風しんは  
ワクチン接種で  
予防が可能です

風しん罹患歴がない、またはワクチン接種歴が1回もない人、抗体検査で免疫のない人はワクチン接種を検討して下さい。

東京都の年齢階級別・性別報告数（風しん）



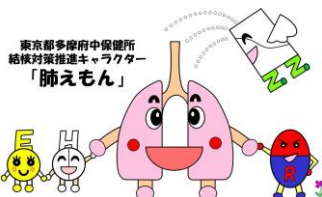
※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは？：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

参考）指定届出機関（定点医療機関）

インフルエンザ定点：管内33機関（都内419） 小児科定点：管内21医療機関（都内262）

眼科定点：管内3機関（都内39） 基幹定点：管内3医療機関（都内25）



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当  
TEL：042（362）2334（代表）

検索 多摩府中 感染症週報